

マウンテンバイク公認大会参加の皆様へ

大会開催時における参加者等の感染予防について

2020シーズンの公認大会については新型コロナウイルス感染症の拡大予防処置等により大会の延期や、中止が相次ぎましたが、これから大会が開催される中、参加者、また関係者の安全を確保するためには、まだまだ感染予防の処置が必要となります。ついては感染予防についてのガイドをまとめておりますので、感染予防に関してのご理解、ご協力、また事前の承諾について、よろしく願いいたします。また、ここにある事柄は、ガイドであり、これに先立ちスポーツ庁のガイドライン、地域の保健所等関係諸機関の要請などが優先されます。

公益財団法人日本自転車競技連盟
マウンテンバイク委員会

- ・ 開催される都道府県等の方針、指示に従うことが大前提となりますので、リスク管理上、直前でも大会の延期、中止が行われることがあります。
- ・ 受付等集合する必要がある場合には、間隔を保って行なわれ、場合により、番号などの区分により時間帯を分けて行うこともあります。
- ・ 会場においては、競技中以外では、極力マスクの着用をお願いします。
- ・ 参加者、関係者等、当日の検温。下記の方は来場をご遠慮ください。
イベント前2週間における以下の事項に該当する方
平熱を超える発熱、咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状、だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)、嗅覚や味覚の異常、体が重く感じる、疲れやすい等。新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有るかた、同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。
- ・ 当日体温が高温である場合などは、会場より離れていただく要請が行われることがあります。
- ・ 待機場所、ウォーミングアップ、トイレなどの場所についても距離をおくようにお願いします。
- ・ 万が一感染が発生した場合には、各競技者情報を当局にお伝えすることがあります。
- ・ 各競技情報(スケジュール、リザルト等)についてはWebなどを通じて伝達され、印刷物は配布、現地での掲示がされない場合があります。
- ・ 表彰式は現地で行わず、賞典のメダルなども追って送付する形態とすることがあります。
- ・ 大会中でも、体温上昇、病気兆候があるときには、大会の医療チームに申告してください。
- ・ 競技のフィニッシュ後、80%などでは、そこにとどまらないようにしてください。
- ・ 集団スタートの競技では間隔の広いステージングエリア、スタートラインやスタートグリッドを設定することがあります。
- ・ フィードゾーンでは、各フィーダーの間隔を空けてください。
- ・ クロスカントリーでは、競技時間が短めに設定され、フィードゾーンを使用しないクラスがある場合があります。
- ・ チームでの補給の際も消毒や手袋、長袖などにより予防となります。
- ・ ボランティアによるフィードの場合に、各自テーブルから受け取る、セルフサービス形態となることがあります。

ガイドラインリンク先: 日本スポーツ協会
<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4173>

参考資料: USA Cycling : RETURNING TO RIDING & RACING 協力: 一般社団法人 MTBリーグ